

北の学芸員たち自慢の 《お宝ばなし》

北海道博物館協会
学芸員部会編

全道各地の博物館・資料館の学芸員たちが、おらが町のちょっとイイ話、自慢の所蔵品などを熱く紹介するHMAウェブサイトの「コラムリレー」が一冊に！
魅力的な北の「自然」と「文化」と「人間」にまつわる選りすぐりの51編。読めば誰もが人に話したくなる！

はじめに 北海道の学芸員たちが明かす
とっておきの「お宝ばなし」の世界へようこそ

第一章 謎を秘めた生き物たち
イトウ―巨大魚伝説の誕生秘話！
サケが遡上できる川を復活させたい
―みんなで作る魚道
打ち上げられたクジラの死体はその後どうなる？
石狩砂利の融雪用ソールとキタホウエンジ
ニホンサリガニが大変だ！
―外来生物拡散による影響
宮部金吾の「ソノブ」漁業
在来タンポポを探して
―エントランポポとシロタンポポ
地域に眠る標本を掘り起す！
身近な自然の調査がめざすもの
海辺にすむカメムシの謎
『フアール昆虫記』に登場する「森屋さん」
第二章 プレート衝突が生み出した大地に眠るもの
驚きの日高山脈、世界から注目される四つの魅力！
縄文人も愛した？日高の「ヒスイ」
むかわ町で道内初の恐竜化石発掘！
なぜアンモナイトは世界中から発見されるのか？
第三章 天空に広がる星と月
礼文島の「金環日蝕」観測隊
光害のない星空を！
第四章 ワイス・ス・自然と人間の関わり
漁業とトソカリ
―人間とセ・ワケサザシの付き合い方
天災か人災か？―開発によっても引き起こされる災害
オオノガイ漁から見た湿地の文化的価値
海は温暖化しているのか？
―漁業員から海洋環境を探る
読んでみませんか？博物館の本
第五章 広い大地が育む人のおおらかさ、あなたたかさ
カニ族と模似町のおもてなし
離島の魅力がふれる奥尻島
第六章 北の大地を築いた人々、根ざした人々
「マルセイバター」を東京へ売り込め！

私たちは、北海道の“財産”を守る仕事をしています。



H24 学芸員部会エクスカッション (網走市立郷土博物館)

集まれ！北海道の学芸員

北の大地に移り住んだ開拓結社
徳川農場と八雲発祥の木彫り熊
馬産地日高―発展の功労者 西忠義
〈流水絵画〉村瀬真治―敬別の海を眺めて
「刷り師」赤川勲の仕事と遺産
名ジャンパーを輩出した
余市の「金谷」竹鶴シャソツエ
高藤茂吉と守谷富太郎―兄弟発祥の北見物産
船に書かれているいろいろな記号・マークの意味
第七章 北海道の戦争の記憶
厚真町の戦争遺産「トーチカ」が伝えるもの
室蘭の戦争遺跡が伝えるもの
樺太航路と稚内港北防波堤下ドーム
戦争に翻弄された幻の鉄路「井井線」
第八章 地域に残る先祖伝来の風習
お乳の出がよくなる「玉子江」の乳母衫
開拓地でお葬式はどう行なわれたか？
〈シン踊り〉をめぐる冒険
―厚沢川流域の「ヒキ山開発」
第九章 アイヌ語地名とアイヌ文化の伝承
「北海道の由来」と「アイヌ語地名」
蝦夷地に渡った源義経の伝説
―各地に残された伝説から
アイヌ工芸技術の継承
―「風谷」における「タタ」制作の取り組み
第二〇章 遺跡から見える古代の文化風習
〈シラカバ〉と「鹿肉缶」が語る
人とエゾシカの関係
北海道のちょっと変わった縄文土器―押型文土器
縄文時代の「木の器」―石狩紅葉山49号遺跡から
第二一章 まちの記憶と文化を刻む古い建物や資料
古い写真から見えてくる「町のその時」
―写真を読み解く
「シン」釜はどこで作られていた？
「移住してきた」古文書は語る
〈遺跡〉は地域の「大先輩」
町の記憶と文化を刻む古い建物たち
あとかぎに代えて―過去が未来を指し示す

※各タイトルは最終的に変更になる場合があります。

道内各地の博物館学芸員が執筆(登場順)▶釧路市立博物館 美幌博物館 根室市歴史と自然の資料館/いしかり砂丘の風資料館/さりに探偵団 新ひだか町博物館 苫小牧市美術博物館 浦幌町立博物館 富良野市博物館/小樽市総合博物館 帯広百年記念館/シオラボ「アボイ岳」 模似町アボイ岳地質研究所 日高山脈博物館 むかわ町立穂別博物館 三笠市立博物館 礼文町教育委員会 市立小樽美術館/えりも町郷土資料館 新冠町郷土資料館 北海道博物館 模似町アボイ岳シオラボパークビジターセンター 奥尻町教育委員会 浦河町立郷土博物館 八雲町郷土資料館 木彫り熊資料館 浦河町教育委員会 紋別市立博物館 今金町教育委員会 よいち水産博物館 北網走北見文化センター 厚真町教育委員会 室蘭市教育委員会 稚内市教育委員会 知内町郷土資料館 厚沢町町教育委員会 沙流川歴史館 平取町立二風谷アイヌ文化博物館/土別市立博物館 湧別町ふるさと館 JRY 郷土館

注文書
..... 書店欄

地方・小出版
流通センター 取扱品
書店様欄(番線)

御担当者名

発行 寿郎社
編者 北海道博物館協会
学芸員部会
税 税込一五〇〇円
購入希望者欄
上記書籍を注文いたします
お名前
ご住所
電話番号

ご注文は編集部「富良野市博物館」まで。
FAX 0167(42)2313
1~2冊は送料360円、3冊以上は送料無料で。